



令和6年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第46号
発行日 R7. 2. 17

令和6年度 学校教育に関するアンケート（児童）の結果より

「学校教育に関するアンケート」（12月9日～19日）の実施にあたりましては、ご協力いただき、ありがとうございました。この調査は12月に、保護者・児童・教員を対象に、同様の内容で調査を実施しました。今回は、まず児童の結果（全児童の割合）についてご報告いたします。

A(とてもそう思う)・B(すこしそう思う)・C(あまりそう思わない)・D(まったくそう思わない)

	No	質問内容	A+B
確かな学力の育成	1	授業中、夢中になって学んでいることがある。	94%
	2	できるようになった、わかったと思える授業が多い。	94%
	3	学校の学習で、学ぶ楽しさを感じている。	90%
	4	友達や先生の話や話を聴くことを大切にしている。	96%
	5	授業中、ペアやグループで協力しながら学んでいる。	92%
	6	授業中、自分で決めたり、試したり、考えたりをくり返ししながら、課題の解決に取り組んでいる。	90%
	7	授業中、わからない時に、「教えて」と友達に聞くことができる。	85%
	8	タブレットを進んで学習に使っている。	91%
	9	進んで読書をしている。	78%
	10	家庭学習(宿題を含む)をきちんとやっている。	92%
豊かな心の育成	11	自分から元気にあいさつをしている。	88%
	12	友達にいじわるせず、みんなと仲良くしている。	95%
	13	話をするとき、相手のことを考えた話し方ができている。	93%
	14	学校の決まりを守っている。	94%
	15	自分の気持ちを話せる人(友達、先生、家族など)がいる。	91%
	16	先生は、あなたの相談などをよく聞いてくれている。	91%
な健やか	17	「早寝、早起き、朝ご飯」を行っている。	84%
	18	外で元気に遊んだり、体育の運動をがんばったりしている。	93%
特色	19	授業で、自分が感じた疑問などを解決することがある。	87%
安心安全	20	学校に行くのが楽しい。	89%
	21	学校には安心できる居場所がある。	91%
	22	学校で、自分らしくいられる。	90%
	23	安全に注意して登下校している。	96%
	24	地震や火事、不審者が現れたときに、どのように行動すればよいか分かっている。	98%
社会性 自己有用	25	自分は「人の役に立っている」と思ったことがある。	84%
	26	自分には「よい」と思えるところがある。	86%
	27	学校で学んだことを通して、地域や社会をよくするために何ができるか考えることがある。(3～6年)	87%

肯定的な回答(A+B)の割合が85%を超える項目が多く、概ね良好な結果です。特に4「聴く」、12「仲良く」、23「登下校」、24「避難(防災)」は95%を超えています。

半面9、17、25は85%以下となり、特に9「読書」については78%とやや低くなっています。図書館司書と担当教員を中心に図書室の整備を進め、本にふれる機会を増やしていますが、さらに読書を推進していく必要があります。また、25「人の役に立つ」もやや低い(84%)傾向があります。これは「自己有用感」という「人の役にたった、人から感謝された、人から認められた」と思える感覚のこと。この自己有用感、自分と他者(集団や社会)との関係をお互いに肯定的に受け入れられることで生まれるもので「社会性の基礎」と言われます。児童が教職員も含め、他者とどうかかわるかが大切になります。

今回の結果は全児童の割合であり、一人一人の児童としては十分な点もあれば、不十分な点もあります。一人残らず全ての児童が達成できるよう、全教職員で少しずつ努力してまいります。